

■ 国内大学初！大規模災害時の燃料輸送に関する協力・研究体制を構築 ■
シューワ株式会社と燃料輸送についての共同研究に係る協定
および石油燃料配送に関する基本契約を締結
 ～ 南海トラフ地震等の大規模災害に備えたさらなる防災力の向上を目指して ～

このたび関西大学とシューワ株式会社は、大規模災害時の効果的な燃料輸送についての共同研究に係る協定および大規模災害時における石油燃料配送に関する基本契約を締結することとなり、10月27日に関西大学千里山キャンパスにて調印式を執り行いました。

同社は、燃料の取扱いに関して40年の実績を誇り、防災・災害対応支援に力を入れています。近年では、東日本大震災や熊本地震でも緊急出動し、災害対応・災害復興において尽力・活躍しました。一方、関西大学は、本学オリジナルの「地震対応マニュアル」に基づき「関大防災Day」の実施や備蓄庫の設置、学外団体との協力体制の確立など、“地域の中の大学”として、地域防災力の向上および各種連携の強化に努めています。また、2010年に開設した社会安全学部をはじめ、日本有数の防災・減災分野における教育・研究を展開しています。



調印式の様子

(左：池内啓三 関西大学理事長、
右：矢野秀和 シューワ株式会社代表取締役)

(関西大学 池内 啓三 理事長 挨拶コメント)

防災・災害対応支援に注力するシューワ株式会社と、防災・減災に対して先駆的な関西大学による協定および基本契約の締結は非常に喜ばしい。南海トラフ地震等に備えて連携を深め、さらなる防災力向上を進めたい。

(シューワ株式会社 矢野 秀和 代表取締役 挨拶コメント)

今回の協定および基本契約について、大変光栄であるとともに責任の大きさを実感している。命をつなぐサービスを行う総合防災企業として、国内初となる共同研究に対し、グループを挙げて協力したい。

(関西大学 芝井 敬司 学長 挨拶コメント)

大学が社会と深く関わり、課題に対して協同しながら教育・研究を行うことが重要になってきている。今回の共同研究の成果が、安全・安心を求める社会で生かされるものとなるよう期待している。

(関西大学 安部 誠治 社会安全学部長 挨拶コメント)

積年の課題であった燃料備蓄問題が、今回の契約締結により解決されることとなり感謝している。共同研究においても、安全の分野で同社と本学が連携しながら社会に有益なものをつくり出していきたい。

今後は、南海トラフ地震等の大規模災害に備え、具体的な燃料輸送計画の策定や、災害を想定した訓練の実施、過去の災害から学ぶセミナーの開講などを通じ、学内の防災意識を高めます。また、社会安全学部との共同研究では、燃料供給の安定化・確実化による避難所の環境改善など、灯油巡回サービス事業者ならではの防災・減災分野での事業展開・社会貢献の可能性を検討します。

以上

※写真をご入用の方は、お手数ですが kouhou@ml.kandai.jp 宛にご請求ください。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、寺崎

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 Tel.06-6368-1131 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp